

第 29 回 橋に関するシンポジウム



「どこまでできる？ 鋼構造の DX」

土木学会鋼構造委員会では、委員会活動の紹介、最新情報の発信、研究者・技術者の交流などを目的として、1998 年より「鋼構造と橋に関するシンポジウム」、2020 年から「橋に関するシンポジウム」を企画し、主に鋼構造物に着目した設計・施工・維持管理・点検・診断技術や新材料・新技術などの最新動向について話題提供を行ってきました。

近年、鋼構造分野においては、AI、BIM/CIM、デジタルツイン等の DX を推進する技術の導入が進展しており、その効果が期待されています。一方で、設計・製作・施工・維持管理の各段階において、各種技術導入による効果を十分に発揮させるための課題も顕在化しつつあります。

本シンポジウムは、鋼構造分野における DX 推進の現状と課題を整理するとともに、今後のさらなる DX 推進に向けて必要となる取り組みについて意見交換を行うことを目的としています。本行事が、鋼構造分野における DX 推進の方向性を共有し、その将来像を展望する一助となることを期待しています。

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）

後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタンツ協会、
中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、
阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社

2. 日 時：2026年 8 月 4 日（火）10:30～18:00（予定）

（会場参加の場合 受付開始 10:00 受付終了 16:00）

3. 場 所：名古屋大学 オークマホール、および、オンライン開催（Zoom ウェビナー）

愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学 工学部 オークマ工作機械工学館
（名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅 3 番出口すぐ）

<https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/access/>

※オークマホール内は飲食禁止となります。



（会場案内）

4. 定 員：会場参加

100名（申込先着順）

オンライン（Zoom）参加

250名（申込先着順）

5. 参加費(税込): 会員; 5,500 円, 非会員; 6,600 円, 学生; 無料

※オンライン参加では、上記の参加費に加えオンライン費用として 1,100 円を別途徴収致します。

※学生はオンライン参加の場合も無料です。

6. 申込み締切日: クレジットカード決済: 2026 年 7 月 30 日(木)

コンビニ決済: 2026 年 7 月 23 日(木)

7. 申込方法: 下記の土木学会 HP からお申込み下さい。

【会場参加】<https://www.jsce.or.jp/events/form/252604>

【オンライン参加】<https://www.jsce.or.jp/events/form/2526041>

※参加区分にご注意の上、お申込みをお願いいたします。

決済完了後の変更及びキャンセルはできませんので予めご了承ください。

8. 問合先: 土木学会研究事業課 鋼構造委員会担当事務局宛

MAIL: sugawara “at” jsce.or.jp (“at”を@に変更して下さい)

9. シンポジウムプログラム ※詳細は変更の可能性があります。

(1) 開会の挨拶(10:30~10:40)

鋼構造委員会 委員長

(2) 委員会活動報告(10:40~11:00)

鋼構造委員会 幹事長

【論文報告】(11:00~11:35) ※質疑応答 5 分

(3) 耐候性鋼橋梁のさび外観評点と健全性評価に関する考察

宮崎大学 中島和俊 様

【小委員会報告】(11:35~12:25)

(4) 鋼構造物のサステナビリティ調査研究小委員会

歴史的鋼橋データの更新と活用に関する調査小委員会

鋼構造における鋼材性能の活用に関する調査研究小委員会

~~~ 昼 休 憩 (12:25~13:25) ~~~

※会場(オークマホール)内は飲食禁止となります。

昼食は名古屋大学構内および周辺の店舗等をご利用ください。



[各店舗紹介](#) | [営業時間](#)・[店舗](#)・[連絡先](#) | [名古屋大学消費生活協同組合](#) (上記二次元コードをご参照ください)

【基調講演】(13:25~14:00) ※質疑応答 5 分

(5) 構造工学の新たな可能性 — トポロジー最適化・最適設計・メタマテリアル研究から

名古屋大学大学院 教授 加藤 準治 様

【話題提供】(14:00~16:10) ※質疑はパネルディスカッション内

(6) 自然言語からの BIM/CIM モデル生成(14:00~14:30)

株式会社 Malme 大隅 祐治 様

(7) 鋼橋設計データ連携と 3 次元モデルを活用したフロントローディング技術の開発(14:30~15:00)

オフィスケイワン株式会社 保田 敬一 様

~~~ 休憩 (15:00~15:10) ~~~

(8) 鋼橋におけるDXの取組み~鋼橋事業の生産性・安全性の向上~(15:10~15:40)

一般社団法人日本橋梁建設協会 鈴木 康宏 様

(9) JR 東日本の鉄道建設プロジェクトにおける DX の取組み(15:40~16:10)

東日本旅客鉄道株式会社 吉田 直人 様

~~~ 休憩 (16:10~16:20) ~~~

【パネルディスカッション】(16:20~17:50)

(10) 鋼構造分野で DX を推進していくために

モデレーター 鋼構造委員会 委員長  
パネリスト ご講演の皆さま

(11) 閉会の挨拶(17:50~18:00)

鋼構造委員会 副委員長

以 上